

ほっかいどう福祉だより【しあわせ】

# SHIAWASE



特集

アドバンス・ケア・プランニング

MY WORK

設立50周年  
富良野あさひ郷

Discover Hokkaido

大雪山の伏流水で育む  
希少な川魚

INFORMATION

福祉職場説明会  
開催



「ふくしる」は、「福祉」と「知る」を合わせた造語で、福祉をもっと知ってほしい、という願いを込めました。

# 人生をどう生きるのかを共に考える アドバンス・ケア・プランニング

人生の最終段階においてその人が望む生き方を共に考え、支援しようという「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」。利用者さんやご家族と対話を繰り返し、できる限りその要望に応えるための取り組みを進めてきた特別養護老人ホームしゃくなげ荘を取材しました。

## 望むケアの実現を目指して

将来、希望する医療やケア、生き方などについて、本人(患者さん・利用者さん)を中心に、ご家族や医療・ケアチームなどが繰り返し話し合い、意思決定を支援するACP。厚生労働省は「人生会議」という愛称

を付け、取り組みを推進しています。人生の最終段階において、その人がどのように生きていきたいのかを共に考え、いかに実現するかが、福祉や医療の現場では重要なテーマになっています。

鹿追町にある特別養護老人ホーム



リラクゼーション効果や緩和ケアなどの観点からアロマを用いたケアを取り入れています



松田美穂施設長は、町内の老人クラブで講演を行うなど、ACPの啓発活動も行っています

「家族であっても老いや死は話題にしにくいものですが、医療や介護が必要になる可能性は誰にでもあります。もしそうになったら、自分ならどこでどう暮らしたいのか、どういう医療やケアを受けたいのか、みんなが当事者として考え、話し合ってみてはいかがでしょう」

しゃくなげ荘では、ご家族と継続的に面談を行い、希望する医療やケア、生活などについて話し合っています。その際に使うのがアセスメント



アセスメントシートは認知症介護研究・研修センターの「認知症の人のためのケアマネジメントセンター方式」を活用。より使いやすい内容にするため、独自のシート作成を進めています

シートです。利用者さんとの関係性、医療や介護サービスへの思い、希望する最期の迎え方などを聞き取り、記入します。内容は年2回見直ししていますが、利用者さんに体調変化などがあつた時にもご家族と連絡を取り、随時見直します。また、病院での治療を経て入所する方は、心肺蘇生や延命治療などの希望の有無を記載した事前指示書があるため、医療に対する要望も把握。鹿追町国民健康保険病院と連携し、希望に沿った対応ができるようにしています。



スタッフ間で常に利用者さんの情報を共有し、わずかな変化でもご家族に報告します

ムしゃくなげ荘は、利用者さんやご家族と話し合いを重ね、希望するケアについて一緒に考える取り組みを行っています。その始まりは、しゃくなげ荘で最期を迎えることを希望する利用者さんとの関わりでした。

松田美穂施設長は「まだ施設での看取りが一般的ではなかった時代に、どうしても病院には入りたくないという利用者さんがいました。徐々に食事が取れなくなる中、ご家族と話し合いを重ね、当施設で看取することを決めました。対応に戸惑う職員もいましたが、ご家族からは、本人の思いをまっとうできた」ととても感謝されました。対話を繰り返し、思いに応えることの大切さを実感した出来事でした」と振り返ります。

このことをきっかけに、利用者さんやご家族の思いを尊重し、できる

## 本当の思いを引き出すために

職員への教育も重視し、看取り介護や終末期医療などに関する研修を実施しています。また、年に1回、利用者さんをしのぶ会を開き、看取りまでの関わりを振り返っています。看取りや終末期への取り組みに不安を感じていた職員も、研修や利用者さんらとの関わりを通してACPの意義を理解し、介護職としてできることを考え、行動するようになっていきました。

ACPの取り組みで大切なのが、利用者さんやご家族との関係性です。しゃくなげ荘では、入所時から対話を重ね、信頼関係の構築やご家族の理解を図った上で、ACPの話し合いを進めています。松田さんは「アセスメントシートを埋めるのが目的ではなく、いかに本当の思いを引き出すかが重要。例えば、医師が話し

限り要望に応えようという取り組みがスタート。介護報酬として2006年に「看取り介護加算」が新設され、話し合いを繰り返し、同意を得て看取り介護を行う取り組みが評価されるようになったことも後押しになりました。

## 元気な時から話し合いを

ACPは利用者さんの思いを尊重することが基本ですが、介護施設に入る段階では、意思表示が難しいのが実情です。しゃくなげ荘は認知症の方の割合が高く、ご家族が本人に代わって「こういうことをしたい」と言っていた「こんなことが好きだった」と思い起こして話すケースが多いといえます。だからこそ元気なうちに家族と話し合い、意思を共有しておくことを松田さんは勧めます。



看取り介護の職員研修の様子

合いに参加する場では、遠慮をして本音が言えない方もいます。日常のケアや対話の中で、少しずつでも本当の気持ちを話していただくことを大切にしています」と話します。

## 介護施設だからできること

ご家族の中には、迷ったり、一度決めたことを変えてはいけないと考え方もいますが、「大切なご家族のことなのだから、迷うのは当たり前のことです」と松田さん。ご家族の迷いや戸惑いを受け止め、時には一緒に悩むことで「この施設で過ごさせてあげて良かった」と言ってもらえるように、ACPに取り組みでいききたいといっています。

「介護職はACPのチームの1員として利用者さんの人生の締めくくりに寄り添い、支えることができます。とても意義のある仕事です。今後介護施設だからこその柔軟な対応で要望に応えるとともに、ACPへの理解を広げる取り組みも続けていきたいと思ってます」

社会福祉法人鹿追恵愛会  
特別養護老人ホーム  
**しゃくなげ荘**  
鹿追町北町1丁目13  
TEL.0156-66-2588  
<http://www.shikaoi-keiaikai.jp/shakunage/>



1980年に鹿追町立の特別養護老人ホームとして開設。1985年に町より社会福祉法人鹿追恵愛会に経営移管。2014年に増築し、全室個室の地域密着型特別養護老人ホームも開設しました。

## 誰もがその人らしく暮らせるように 人に寄り添うケアで地域を支える

「社会福祉法人富良野あさひ郷」は50年にわたり、地域の障がい者と高齢者を支える福祉事業を担っています。同法人や、法人が運営する市内唯一の特別養護老人ホーム「北の峯ハイツ」の取り組みと、そこで活躍するスタッフを紹介します。



レクリエーションはどの利用者さんも楽しく参加できることを重視しています

### 障がい者と高齢者を支える

社会福祉法人富良野あさひ郷の歩みは、1974年の「社会福祉法人北の峯学園」の設立に始まります。同年に「知的障がい者更生施設北の峯学園」を開設し、障がい者の生活や就労などを支援する取り組みを始めました。続いて1979年には「特別養護老人ホーム北の峯ハイツ」を開設。同年に法人名を現在の名称に変更し、富良野市周辺の障がい者と高齢者の福祉を支えてきました。

現在は障がい者支援施設や就労支援施設、グループホーム、特別養護老人ホーム、デイサービスセンターなどを運営し、幅広い福祉サービスを提供。また、2017年には保育施設を開園し、職員や地域の保育ニーズにも応えています。

同法人は50年の歴史の中で、地域とのつながりを重視してきました。業務執行理事を務める福永吉克さんは「地域社会に貢献し、地域住民との信頼関係を築くことを目的に、コロナ禍前は介護相談や地域交流の場の提供、介護予防教室の開催など、各施設が地域活動を積極的に行ってきました」と話します。

### きめ細やかなユニットケア

そうした地域活動の中核施設となってきたのが北の峯ハイツです。北の峯ハイツは富良野市で唯一の特別養護老人ホームとして、利用者さん一人一人に寄り添うケアを提供しています。2013年には施設を移転し、120床すべてを個室にリニューアル。自宅に近い環境のユニットケアで、その方らしい生活ができるように支援しています。

施設長を兼務する福永さんは「利用者さんの状況に合ったケアを提供するため、12のユニットを3つのグループに分け、グループ単位でレクリエーションや入浴などを行っています。当施設の中に40床の施設が3つあるイメージです」と、きめ細かなケアに向けた工夫を説明します。



法人の業務執行理事と北の峯ハイツの施設長を兼務する福永吉克さん

### 愛される施設を目指して

現在、利用者さんの平均年齢は87歳。介護度や医療リスクの高い方が8割に上ります。そのため、看護補助職員の増員や介護職員への教育、看護師との連携体制の整備を図り、看護体制の強化に取り組んでいます。

また、外国人の介護職員も積極的に採用し、現在は7名が働いています。その多くが介護福祉士の国家資格を持ち、即戦力として介護現場を支える頼もしい存在となっています。

同施設では、基本理念に「みなさんに『愛される』『必要とされる』『頼りにされる』そして『ここで良かった』と思える施設」を掲げています。利用者さんとご家族が安心できる施設づくりを目指し、職員の確保や教育に力を注ぐと同時に、今後は地域との交流活動なども再開していく予定です。

### 人の役に立ちたいという思い

北の峯ハイツでユニットリーダーを務める波利奈さんは入職9年目。介護職員を志したきっかけは、小学校の交流行事で高齢者施設を見学したことです。「利用者さんと話をしたらとても喜ばれて、私の手を取って泣かれる方もいました。その姿を見て、人の役に立つ介護の仕事をしたいと思いました」と話します。



波利奈さんは施設のある富良野市出身。「反省や後悔は常にあります。その思いをバネに、より良いケアを目指しています」

その思いは変わらず、高校から介護の専門学校に進学。実習先だったこととユニットケアに魅力を感じたことから同施設に入職しました。

現在担当するユニットは比較的自己立度が高い認知症の方が中心のため、体操や畑での作業など、体を動かす活動を取り入れています。時には一緒に洗濯物を畳んだり、洗い物をしたりすることで、その方のできることを生かすようにしていると波さんは話します。また、新しいことに対しては戸惑いや不安を感じる方も多いため、なじみがあり、過去のことを思い出しながらみんなで楽しめる活動を大切にしているそうです。

「帰宅願望があったり、夜、不安になって眠れないという利用者さんもいます。そういう方とはできるだけじっくりお話をし、安心してもらうようにしています。利用者さんから『優しいね』と言っていただけと心に残りますし、この仕事を選んで良かったと思います」

### 質の高いケアの実現を目標に

ユニットリーダーの役割は介護職員の育成やシフトの管理、看護職員との連携、ご家族への連絡など多岐にわたります。特にシフトの管理は、いかに効率よく職員を配置するか頭を悩ませることも。「例えば、外国人の技能実習生は必ず日本人の職員とペアで夜勤を担当するようにしています。限られた職員数で質の高いケアを維持するにはどうしたらいいか、常に考えています」

働く上で波さんが心がけていることがあります。それは認知症の利用者さんの発言や行動を否定しないこと。言葉を選んで伝えることで、安心してもらったり、納得してもらえるように工夫しています。「仕事の上での反省は常にあります。落ち込んだりもしますが、そういう時はとことん思い悩んで乗り越え、同じことを繰り返さないようにしています」



波さんの発案で設けた手作りのカフェスペース

社会福祉法人  
**富良野あさひ郷**

富良野市栄町11-11  
TEL.0167-23-1691  
<https://www.furanoasahigou.or.jp>



特別養護老人ホーム  
**北の峯ハイツ**

富良野市東雲町1-1  
TEL.0167-23-1611



利用者さんの様子を見ながら声かけや手助けを行います



# Discover Hokkaido

北海道ものづくり

## SHIKAOI



## 大雪山の伏流水で育む希少な川魚 鹿追やまべ園 畑 淳之さん

大雪山系の雄大な山並みが広がる鹿追町で50年以上、川魚を養殖し、川魚料理を提供してきた鹿追やまべ園。代表の畑淳之（はた・きよゆき）さんに、おいしい魚を育てる秘訣や自慢の料理について伺いました。



代表の畑淳之さん

貸し釣り竿もあり、気軽に釣りが楽しめる

### 鹿追やまべ園

鹿追町東瓜幕西16線27-7

TEL. 0156-67-2014

http://www.yamabe-en.com/

食事 11:00~16:00

釣り堀 9:00~16:00

無休（臨時休業あり）



### 珍しい川魚料理の専門店

鹿追町から土幌町に続く国道274号の直線道路。鹿追やまべ園は、道の途中にある大きな看板を目印に左に曲がり、しばらく進んだ先にあります。広い敷地には赤い三角屋根の店舗と魚の養殖いけす、釣り堀が点在。休日には、川魚料理を自分でやってくる人や釣りを楽しむ家族客で賑わう、人気のスポットです。

畑さんは、創業者の父久雄さんの後を継ぎ、やまべ園の代表を務めています。「創業は1972年。大雪山系の伏流水を引いてニジマスとヤマベ（ヤマメ）の養殖を始め、その後オシロココマも育てるようになりました」。オシロココマを養殖し、料理にして出す店は珍しく、やまべ園の名物になっています。

### 水産を学び、家業に生かす

畑さんは鹿追町の中学を卒業後、日本で唯一、淡水魚専門の水産科がある栃木県立馬頭高等学校に進学。さらに日本大学農獣医学部水産学科に進み、水産に関する知識や魚の養殖技術などを幅広く学びました。大学卒業後、鹿追町に戻った畑さんは、養殖している魚の世話を担

### 伏流水がおいしい魚を育てる

毎朝7時から魚の餌やりやいけすの掃除などを行った後、開店前には厨房に立って料理の仕込みを始めるという畑さん。大変なのは魚を大きくさせること。例え、「料理ごとに適したサイズの魚をそろえるのが難しい」と話します。例えば、ニジマスなら刺身用で1kg以上、塩焼き用は200g程度が目安ですが、同じ年に生まれた魚でも生育状況にはばらつきがあるため「苦労なのだそう

です。やまべ園の魚は臭みがなく、おいしいと評判ですが「二つのいけすでたくさん飼わないようにしているぐらいで、特別なことは何もしていません」と謙遜します。伏流水を引いていることが何よりの強みで、きれいな水で育てることで川魚特有の癖がなくなるのだと語ります。

### 滋味豊かな川魚料理を堪能

やまべ園では、魚の持ち味を生かし、シンプルな料理にして提供しています。ヤマベであれば塩焼きやフライ、唐揚げに。オシロココマは塩焼きと唐揚げに。ニジマスはどの料理



魚に餌を与える畑さん。いけすでは大きな魚が悠々と泳いでいます

当。学んだ技術を生かし、卵の受精を行ったこともあるそうですが、あまりに手間がかかることから断念し、たと振り返ります。また、過去には大雨の影響で、いけすに水を引いて

にも適していますが、中でも刺身がお勧めで、身の締まったブリブリとした食感が人気です。名物料理がセツトになった定食や、二品料理にご飯や味噌汁が付く定食もあり、川魚尽くしを楽しめます。

また、釣り堀で釣った魚は買い取って持ち帰る以外に、調理代を払ってフライなどにしてもらうこともでき、特に子ども連れの家族客から好評を得ています。「家では魚を食べない子どもが、やまべ園の魚なら食べる」と話す人も多く、そういう声を聞くとうれしくなる、と畑さんは笑います。SNSでやまべ園のことを知り、料理を食べに来る外国人観光客も増えているそうです。

「連休の時は大忙しだし、魚の世話は1日も休めないけれど、それを苦だと思ったことはないですね」と畑さん。まだ次の担い手は決まっていないうえですが、やまべ園の歴史を誰かに引き継いでほしいと考えています。

長年にわたり地域に愛されてきたやまべ園。清らかな水に育まれた滋味あふれる川魚を味わいに、ドライブがてら出かけてみてはいかがでしょうか。



朱点が美しいオシロココマ

新鮮な川魚を使った料理が自慢。名物定食は3品2100円から、やまべフライ定食1400円

締めた魚を手早く調理し、塩焼きや揚げ物にします

いる川から大量にゴミが流れ込んでしまい、一晩中ゴミを取り続けたことも。水の恩恵を受けると同時に水との闘いも経験してきたと畑さんはいいます。

### 鹿追立ち寄りグルメ



#### 鹿追チーズ工房

全国でも珍しい、チェダーチーズがメインのチーズ工房。熟成期間の異なるタイプ他、ペッパーやガーリック味なども。チェダーチーズ各種500円台～900円台、チェダー5種セット800円。鹿追町瓜幕南2丁目26-2 TEL. 0156-67-2537 10:00~16:00 月曜・火曜定休、水曜不定休



#### 大草原の小さな家

地元食材を中心にした料理をバイキング形式で楽しめる。低温殺菌の牛乳で作るソフトクリームも食べ放題に。60分食べ放題大人2000円、65歳以上1800円、7~11歳1200円、3~6歳800円。鹿追町世川北7線11-3 TEL. 0156-66-2200 11:00~15:00（ラストオーダー14:00）木曜定休（他にも休業日あり、HPを確認）、11~3月不定休



#### 道の駅しかおい

鹿追町の新鮮な野菜や特産品、名物のスイーツやそばなどを販売。町内の牧場「カントリーホーム風景」の生乳の風味を生かしたソフトクリーム（350円）が人気。鹿追町東町3丁目2 TEL. 0156-66-1125 4~10月9:00~17:00、11~3月10:00~16:00 不定休

※料金・価格は税込みです



# SHIAWASE クロスワード

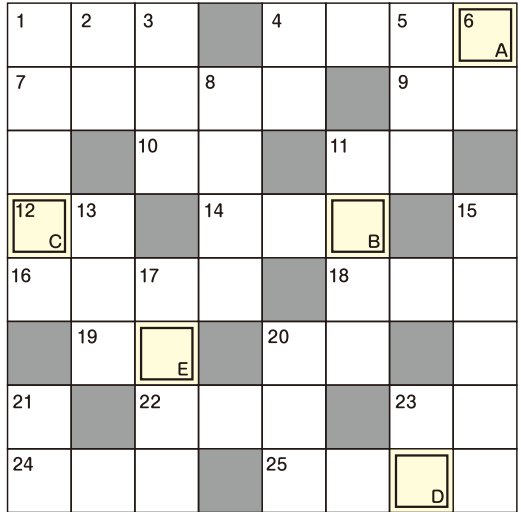
## Q.二重マスA~Eでできる言葉は何でしょう？

[タテのカギ]

- 夏においしい「欠氷」の読み方は？
- 8本足がタコなら、10本足は？
- 品質や内容を入念に調べること
- 蚊の対策につるす物
- オショロコマの別名はカラフト○○○
- 妊娠から記録してゆく○○健康手帳
- ふくし⇒しあわせ⇒せいかつ⇒つうしょ⇒…
- 確率が五分と五分
- 3千6百○○○で1時間
- 主に親指同士で「はっけよい」
- 夏も絶景、空知管内の○○○○沼湿原
- めでたしめでたし、ハッピー○○○
- 地域の特産物や情報をゲット、道の○○
- 笑う○○には福來たる

[ヨコのカギ]

- ACPを広める愛称が「人生○○○」
- 一家の収入と支出を書き込みます
- 鉄道でSLといえば、蒸気○○○○○
- タカの仲間でタカより大型の鳥
- 千分の1を示す「m」
- 聴覚が耳なら、嗅覚は？
- に短したすきに長し
- 将棋の「歩」が裏返って「と」に
- フランス、会席、無国籍
- なすみ、線香、打ち上げ
- に爪あり爪に爪なし
- 安くなるとドルなどが高くなります
- 「所以」の読み方は？
- ネギをしょってくるといわれる鳥
- 1、3、5、7、9……
- 国道でなく、北海道の道



### こたえ

A	B	C	D	E

作：石田竹久

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆  
サブレ5種の詰め合わせを  
20名様にプレゼント！  
◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆



お味は塩チョコ、ホワイトチョコ、ココア、オレンジ、チーズの5種類です。1番人気は塩チョコで、トッピングした塩とチョコレートがマッチして一味違った味わいです。食べやすい大きさと、食感はサクッとしていて軽い口当たりです。是非ご賞味ください。特定非営利活動法人釧路手をつなぐ育成会が運営する事業所「サンフラワー」(釧路市)が作りしました。  
お問い合わせは釧路手をつなぐ育成会、電話0154-43-1039へ。

※春(4月)号の答えは「ライラック」でした。  
当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代させていただきます。

## 応募のきまり

締め切り:2024年8月31日(土)23:59

応募方法:右の二次元コードより応募ください。

ハガキの場合は①クロスワードの答え②郵便番号③住所④氏名(フリガナ)⑤性別⑥年齢⑦電話番号⑧お勤め先⑨本紙の感想を明記の上、〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目プレスト1・7(4階) 北海道民間社会福祉事業職員共済会「しあわせ」係まで応募ください。  
※皆さまから寄せられたご感想などは本紙に掲載させていただく場合があります。掲載された方には「しあわせ」オリジナルグッズをプレゼントします。



読者さんからの便り

# Voices

春号(138号)を読んで

「MY WORK」を読んで、地域との関わりや交流にも主体性をもって積極的に取り組まれておられることが、利用者様や職員に素晴らしい効果をもたらしていると感じました。私の働く施設でも、もっと力を入れていきたいです。  
(喜茂別町・Yさん)

初めて読ませていただきました。皆様の頑張っている姿や、色々な施設を見学してみたいなと思わせる情報が出ていて嬉しいです。自分を見つめ直す良い機会になりました。次回も楽しみにしています。  
(茨城県・Mさん)

## 令和6年度 第2回福祉職場説明会を開催します

福祉の仕事に関心がある方や就職を希望される方に向けて、福祉職の魅力や職場の具体的な情報提供を行い、就業意欲を高めることを支援するとともに、福祉人材の安定的な確保と定着の推進を図ることを目的に開催しています。当日は参加法人のPRタイムや個別面談コーナーを設けておりますので、お気軽に足をお運びください。

【開催日】9月29日(日)  
【時間】10:00~15:00(受付開始9:30)  
【場所】札幌ビューホテル大通公園(札幌市中央区大通西8丁目)  
地下2階ピアリッジホール、クレストホール  
【問い合わせ】北海道社会福祉協議会 北海道福祉人材センター  
(直通電話)011-272-6662

※中止・変更となる場合は、ホームページでお知らせいたしますので、ご確認のうえご来場ください。

## 公益セミナーのご案内

道民及び本会会員を対象に新人フォローアップ研修を開催します。詳細は順次ホームページにてご案内いたしますので、右の二次元コードよりご確認ください。

【開催日程(予定)】10月30日(水)、11月15日(金)  
【場所】札幌市



ほっかいどう福祉だより「しあわせ」

# SHIAWASE

発行/一般社団法人 北海道民間社会福祉事業職員共済会

札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7 4階

TEL.011-251-3828 FAX.011-251-3848

https://www.kyousaikai-shiawase.jp [Email] kouhou@kyousaikai-shiawase.jp